

**令和6年度 第2回
山形市総合学習センター運営協議会**

令和7年2月5日(水)

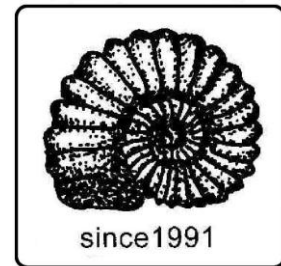
15:30~16:45

会場:多目的研修室

I 出席者

【委員】津留俊介委員、関口雄一委員、戸田雅大委員、横倉晋也委員、阿部慶子委員
西村仁美委員、佐藤朋子委員、芦野 均委員、渡辺佐和子委員(計9名)

【事務局】永見総合学習センター 指導主事
元木総合学習センター 指導主事
白田総合学習センター 指導主事
田井地総合学習センター指導主事
志布総合学習センター 指導主事
山川学校教育課 主任指導主事 (計6名)



II 傍観者 0名

III 会議

I 開 会

2 あいさつ

(1)総合学習センター所長

(2)運営協議会長(津留委員)

3 座長選出(津留委員)

4 協議

(1)令和6年度事業報告… 資料をもとに、事務局担当者から報告。

(委員)「リタリコ」では何ができるのか？

(事務局)リタリコは、個別の教育支援計画・指導計画の作成をサポートし、子どもの実態に応じた教材を選んで提供することができる。また、オンデマンドの教職員向け研修動画を活用することができ、指導力向上が期待される。

(委員)広く市販されているのか？

(事務局)株式会社LITALICOが開発したソフトであり、自治体との契約のみになる。山形市として契約し、今年度から51校に本格導入している。昨年度までは10校に試験導入していた。

(委員)特別支援学級数が増えているという話があったが、学級数を増やす基準は？

(事務局)特別支援学級への入級は、教育支援委員会という有識者による専門委員会を経て、在籍を決定している。1学級は在籍6名まで、在籍7名以上になると2学

級という基準がある。

(委員) 法令で決まっているのか？どんな職員が担当しているのか？教員がいらないから学級を増やせないということは起きないのか？

(事務局) 国及び県の基準で決められている。教員免許を持っている職員が担当するが、特別支援教育の免許を持っているとは限らない。学級数に応じて教員配置が行われている。教員不足については課題であり、県に要望していく。

(委員) 教職員研修の中で、ICT機器を扱った内容の研修会を4回行っているが、回を追うごとに参加人数が少なくなっている。最初と同じ内容の研修を繰り返しているのか？または、先生方が忙しくて研修会に参加できないのか？

(事務局) 内容は毎年同じではなく、学校の状況や社会の動きに合わせて更新している。研修内容についてのメリットをもう少しアピールできれば良かったと思っている。ただ、よく捉えれば、ソフトウェアが根付いてきたと言える。

(委員) ICT機器が普及して、先生方が使いこなせるようになってきたのか？

(事務局) 校内の先生同士で教え合う様子が見られる。

(委員) 研修の中身は4回とも違うのか？

(事務局) スライド27（山形市教職員研修）参照。①～④の内容で行っている。参加人数も研修によって異なる。先生方のニーズに合わせて企画している。

(委員) 教育相談件数の減少の要因は何か？

(事務局) 一概には言えないが、保護者が適応教室「風」だけでなく、フリースクールも選択肢の一つとしている可能性が考えられる。

(委員) 相談窓口はどこにあるのか？

(事務局) フリースクールや学校教育課など。

(委員) フリースクール利用者についてのデータはあるのか？利用者は増えているのか？

(事務局) 現在、手元にデータは持っていない。学校と学校教育課で情報を共有している。

(委員) スライド25（ICT教育支援員の配置）について、前回まで3校に1名配置から、今回は4校に1名の割合になったが、業務のしわ寄せはないのか？

(事務局) 昨年度までは16名で、半分为ICT全般、半分为プログラミングに特化した支援をしてきた。プログラミングの支援要請がだんだん縮小し、各校に根付き始めた実態がある。そこで、今年度からプログラミングに特化した支援業務は停止し、国が推奨する4校に1名の基準に合わせた。もっと支援して欲しいという要望は特にないため、適正だと捉えている。

(委員) スライド24（スカイメニューによる意見の集約機能）について、モニターに出ているのは一人一人の児童なのか？教師は常に見ることができるのか？

(事務局) 教師は常に見ることができる。電子黒板を使って、クラス全体に映し出している。子ども達も自由にアクセスして、友達がどんな考えなのかを見ることができる。

(委員) 個人的には、プライバシーの侵害になるため好ましくない。便利だと思うが、使い方を検討して欲しい。懐の中に知らないうちに入り込まれるようで、私にとっては脅威を感じる。

(事務局) 子ども達は意見をアップしないという選択もできる。課題として検討したい。

(委員) 実践しているのは、小学生だけか？

(事務局) 小学生も中学生も行っている。

(委員) 発表する内容が書けないとか、言えないとか、白紙の状態でアップしましょうとか、子どもにとって非常に負担がかかるのではないかと？ 1回、2回であればいいが、常にそういう状態では負担になると思うので、子どもに寄り添ってあげてはどうか。

(事務局) 「白紙共有」という言葉があり、分からないことも共有するという考えに基づいている。友達の考えを参考にして書き加えていくことができる。

(委員) この考えは図工と美術では成り立たない。それを教育の中で行っているのか疑問がある。

(事務局) ご意見に感謝。検討する。

(委員) 人の心の中に土足で踏み込まれるようで怖い。自分が知ってもらいたいときにアップするのは便利だが、一挙に集約するのは怖い。使い方の工夫が必要である。

スライド28 (第一中の授業風景) について、授業の目的は何か？各テーマに分かれて、テーマ毎に集まって実験したり、作業したりするような授業はあるが、これは何のためなのか？

(事務局) 個別最適な学びと協同的な学びが一体化された授業のスタイル。生徒各自がまとめていく。

(委員) 好きなことをやるなら学校も教師もいらないのではないかと。全面否定はしないが、たまに実践するとしても目的がよく分からない。かなりの労力を要するのではないかと。

(事務局) 教師が授業をコーディネートしていく必要がある。労力はかかる。

(委員) この授業は研究授業なのか？他の方は意見しないのか？

(事務局) これは普段の授業。研究授業では賛否、議論される。

(委員) 国でもICT教育の遅れが叫ばれていて、ギガスクール構想でタブレットが配布されたり、電子黒板が配備されたり、ハード面は整った。先ほどの台湾の使節団が訪問した南沼原小の授業は、一番得意な先生が見せてくださった授業だと思う。第一中の先生もICTの扱いに慣れていて、普段の授業に取り入れている。みなさんがおっしゃるように、活用方法が確立されておらず、教師の指導力に格差が出るのは非常に問題がある。ソフトをたくさん与えることで子どもが振り回されることがないように、何を育てるのかおさえながら、手を広げ過ぎずに大事なところをやっていくのがいいのではないかと？

(事務局) ここ2～3年で対応が追いつかないぐらいたくさんの機器が入ってきたので、来年度以降は教科の本質に迫るような使い方を検証していきたい。

(委員) スライド31 (自分専用のICT機器保有率) と33 (中学3年のインターネット使用時間)、パソコンやタブレットなどの項目について、(棒グラフの)色遣いを統一してはどうか？

(事務局) ご指摘に感謝。今後に生かす。

(委員) 情報モラルについて、「風」においては、どのような研修会を行ったのか？通級生はいろいろな教育の場を失っているため、必要な教育も受けられない可能性がある。性教育や経済教育など、何度もできないと思うが、生きていくのに必要な知識を得られる教育の機会を与えて欲しい。来られない子には、オンラインなどでどの子にも受ける機会を保障できたらいいと思う。

(事務局) 情報モラルについては、その日集まった通級生に一斉に指導した。

(委員) スライド9（教育支援委員会で審議された延べ人数）、スライド10（特別支援学級在籍者数の変化）について、右肩上がりになっているが、小・中学校において令和2年（2020年）から増えている原因は何か？コロナが関係しているのか？学校が機能していなかったことに要因があるのではないかと考えている。憶測でも考えがあれば。

(事務局) コロナが根拠かは分からない。山形市だけでなく全国的に同じ傾向。就学前や就学時健診前から医療機関や療育機関にかかる子が増えてきているようだ。今年度もさらに増えている。

(委員) 学校現場で感じることは、特別支援教育に関心を持たれる方が増えてきたということ。もともと通常学級にも支援を要する子はいたが、関心が向けられてこなかった。丁寧な支援を早期から受けられると、自分の障害を受け入れて自立していけると思う。

(委員) たまたま2020年に増えたのか？

(委員) コロナを機に不登校が増えたので、学校に足が向かわない生徒が増えたことは事実。それが関係するかは分からない。

(2) 令和7年度運営方針および事業内容…資料をもとに、事務局担当者から報告。

(委員) スライド65（教職員研修）について、「山形の特色を生かした授業づくり研修会」は、具体的にどんな内容なのか？

(事務局) R6は安全教育や地域の防災マップに関する内容、R7は山形美術館にて学芸員の話の聞き、山形にゆかりのある作品に触れる内容にする予定。

(委員) すごくいいと思う。

(委員) お願い。テレビで富山県朝日町にて、小学1年生がランドセルを背負っていない様子が流れた。ほとんど荷物が入っておらず、タブレットのみで軽そう。1年生の小さな体にランドセルがパンパンなのは体力的に無理がある。アメリカは教科書が2つあり、1つは学校、1つは家庭。私はアナログ人間だから、紙媒体もなくせないと思う。富山のように、例えばタブレットだけ持って帰るような取り組みを山形市から始めたらどうか。

5 その他

・来年度の協議会について

(事務局) 運営委員は今年度で任期満了になるが、引き続き委員を引き受けていただきたい。来年度からICT教育推進係が市役所から総合学習センターに移管される予定。

- ・次回の協議会について 令和7年5月28日(水) 午後3時30分～午後4時45分
令和8年2月 3日(火) 午後3時30分～午後4時45分

6 閉 会